

学校名	新座市立東野小学校
実施日	令和 2年 1月18 日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、国語科を中心に、学校の教育活動全体をとおして、学校の研究テーマ「主体的に伝え合い学び合う児童の育成」に向かって取り組んでいる。	B	国語科研修一年目と言うこともあり、手探りの状態ではあったものの、研究主任を中心に少しずつ研究の方向性が定まりつつある。各学年研究授業を行い、担任1人1回は授業を行うことができた。「主体的」「伝え合う」「学び合う」ことに関する共通理解や指導方法については今後、より研修を深めていく必要がある。他校の実践などをヒントにどんどん新しい物に挑戦していく。	B	・子どもたちの宿題の様子を見ていると、書き順を重視していない姿が見られる。もったいないと感じる。 ・特に国語や道徳の授業では、一人一人の考えを大切に、自分と違う意見でも人によっていろいろな見方があることを学んでいる。 ・先生方が、いろいろな工夫をして、主体的に伝え合い学び合う児童の育成に努めていると感じる。
2	学校は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善による確かな学力の育成に取り組んでいる。	B	年度当初に、教室環境の統一を明示し、児童が授業に集中できる取組をしている。板書も共通理解がとれており、児童の戸惑いも少ない。しかし、今年度は国語科の研修が多く、UDに関する研修にあまり取り組むことができなかった。来年度は、国語とも関連づけて研修していく。	B	・子どもが集中して授業を受けられるような教室環境を作っている。 ・落ち着いた雰囲気である。
3	学校は、教育活動全体（学級活動・委員会活動含）をとおして、児童に「創る自分」「つなげる自分」「失敗をおそれない」をスローガンに自主的行動ができるよう、心と行動、自分と他者をつなげた（協働）行動ができるよう、チャレンジできるよう指導を行っている。	B	各学級での授業や係活動、委員会活動などにおいて、「自主的」「主体的」に活動する姿が見られるようになってきた。また、新しい試みに挑戦する教員も出てきた。しかし、依然として指示待ちの姿も多く見られ、かつ教員も今までのやり方を変えにくい雰囲気がある。来年度は、児童に対し3つのスローガンをもとに自己肯定感を高める取組が必要と考える。	A	・子どもたちの自主性がよく見られる。特に高学年になると低学年の子どもへの面倒をよく見ている。 ・自発的に行動する姿も見られる。 ・係や委員会、ふれあい班では、児童が中心となって活動している。 ・係活動など、自分たちで考えて取り組む姿が見られる。委員会活動では、集まりが多いものの、よりよくしていこうとする姿が見られる。このような指導がうまくいっている要因だと思う。 ・子どもたちがいきいきしている。掃除をしている姿をよく見かけるが、いつも主体的に頑張っている。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	今年度は行事検討委員会が発足し、教職員の意見をもとに、これまでの行事のあり方や会議の持ち方などが検討されている。また、1人1人の教員がそれぞれのアイデアを出し合い、学年や分掌に取り組んでいる。しかし、分掌によっては仕事の分担ができず、仕事が偏ってしまっている状況もある。来年度は、教科部会等の時間を明確にし、組織的な取組ができるようにしていく。(P:計画 D:実行 C:評価 A:改善)	B	・行事に対し、PTAとも情報を共有して、これからも円滑に進めていきたい。 ・負担が多い分掌、負担が多い先生など偏りが見られるところは、見直しをし、さらに組織的な運営ができるよう改善を図っていくと良い。 ・組織的な運営、責任体制について、年々活性化されてきていると感じる。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	企画委員会の他に行事検討委員会を立ち上げたことで、PDCAのAをもとにPが明確になりつつある。また、教職員もアイデアが出しやすい雰囲気になってきた。これをもとに来年度は、C、Aをさらに確実に実行していくことに努めていく。	A	・自己評価点検サイクルのより一層の改善・工夫が必要だと感じる。 ・先生方のアイデアが見られる良い授業が多い。 ・今後も、教職員の意見を広く集め、評価を反映し、学校教育目標の具現化のための経営の実現に努めてほしい。 ・行事の精選や改革も更に進めていく必要がある。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	安全部を中心に、計画的に避難訓練や不審者対応訓練を行っている。教職員事故防止に関しても毎月定期的に研修を行っている。マニュアルがいざというときに生きて働くようなマニュアルとなるよう、周知、点検、修正、徹底が今後の課題である。	B	・職員室が2階のため、不審者等の確認がとりにくいところがあると感じる。ココフレとしても協力していく。 ・抜き打ちの避難訓練では、教師の指示がなくとも子どもたちがよく考え行動し、放送もよく聞いていた。普段の訓練が生かされていると感じた。 ・日頃の研修に努めてほしい。何が起こるか分からない時代、児童、教職員を守る学校であってほしい。 ・開かれた学校と不審者対策との間で苦労もあると思うが、今の活動が安心安全の町作りにつながると考える。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	学習規律に関しては、生徒指導部を中心に全校で統一しているので、しっかりと定着し学年や担任が替わっても児童が戸惑うことはない。今後は、新学習指導要領に基づいた授業展開に沿うよう、少しずつ変革していく必要があると考えている。	A	・常に研鑽を積む必要がある。若手教員の増加に伴って全国的な課題だと言える。 ・気になる児童の指導は、時間を設けて根気強く取り組んでいると感じる。 ・学習が定着しない児童に対して、休み時間や放課後、長期休みなどにおいてしっかりフォローしている。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	これまでの道徳の研修の成果により、児童間で意見交流をすることには慣れてきている。今後は国語科を中心として、自分で考え、話し、深める活動を多く取り入れ、児童の思考力・判断力・表現力を高めていく。研修等で入手した情報を共有し、授業改善を行っていく。	B	・常に研鑽を積む必要がある。より一層の工夫が必要。 ・児童の判断力、思考力、表現力は優れていると感じる。 ・先生方自身が、主体的・対話的になってきていると感じる。これからも続けてほしい。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	学習指導要領などをもとに、熱心に教材研究に励み学習指導を行っている。定着が十分でない児童に対しては、休み時間や放課後にも指導を行っている。今後は、習熟度別の授業や支援員、学生ボランティアなどの増員を検討している。	B	・それぞれの児童にあわせて、よく考えて指導していると感じる。 ・子どもたちに寄り添った指導をしていると、保護者からも聞いている。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	B	英会話講師との授業により、児童は英会話表現になれ、抵抗なく発音するようになってきている。グローバル化に向け、生活科や総合的な学習の時間等に国際交流に関わるものを位置づけ、積極的に異文化人との交流を図っていく。	B	・オリンピックパラリンピックなどがあり、機運が高まっていると感じる。国際交流が更に広がり深まってほしいと感じる。

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	本年度も、代表委員が、本校児童のあいさつの現状をとらえ、アイデア豊富な対策に取り組んでいる。各学級でも発達段階に応じた、あいさつや言葉遣いの指導を行っている。しかし、言葉遣いや礼儀に関しては個人差が大きく、今後も粘り強く指導に取り組んでいく。	A	・個人差があると思うが、言葉遣いに関し気になる点がある。特に注意が必要な児童も見受けられる。 ・代表委員がいろいろなアイデアを出し、皆があいさつをするように務めている。 ・子どもたちは、場面によってふさわしい言葉遣いができるようになってきていると感じる。特に高学年。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	月に一度生活アンケートに取り組み、いじめに関する実態を把握するとともに、組織的に迅速に対応している。教師が、児童一人一人の人権を大切にしている。家庭環境が複雑、発達に課題がある等の児童が増加しており、今後どう対応していくか検討が必要である。	A	・人権に関しては、先生方も注意の仕方など苦労していると感じる。それぞれの問題に真剣に取り組んでいると思う。 ・複雑な家庭環境下におかれている子どもたちに対しても、親身になって対応していると感じる。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	規律に関しては教職員が手本となれるよう日々努力をしている。毎月の生徒指導委員会では、生活目標の振り返りを行い、指導の重点などの共通理解を図っている。これからも、教育公務員としての自覚を持って続けていく。	A	・生徒指導と学習指導の一体化が必要だと感じる。7番との関連も深く、常に改善を図っていく必要があると感じる。 ・児童の名前を「さん」で呼ぶなど、統一されていてよい。 ・教職員は、親以上に子どもに接する時間が長い身近な大人である。だからこそ、教育公務員としての自覚をしっかりと持ってほしいと感じる。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	体育朝会は内容が一新し、児童が楽しそうに体を動かし体力向上につながっている。体力アップカードも全クラスで取り組んでいる。高学年ほど休み時間に外で体を動かす時間がとれないため、効果的な体力向上の方法を検討していく必要がある。	B	・全国的な課題であると言える。しっかりとした体作りが教育活動全体の基礎・基本であると思うので、より一層の指導の工夫が必要だと感じる。 ・高学年、とりわけ6年生は1日を通して忙しい。外で遊ぶ機会も時間も少なくなってしまう。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	給食時には、給食委員が献立の説明をするなど食に対する意識を高めている。3学期には、「梅の授業」「リンゴの授業」を計画している。今後は全学年で行えるよう計画していく。	A	・学校での食育に関する学びを、家でも話してくれる。とても大切な学びだと感じている。 ・今、できていない学年にも継続して行える授業になるよう、協力していきたい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	学校は保護者や地域の方々の要望や意見等を真摯に受け止め、吟味し、学校運営に反映させている。学校応援団や父親の会等、年々活動を充実させている。今後も、協力体制を深めコミュニティ・スクールとしての役割を果たしていく。	A	・コミュニティ・スクール研修会参加により、教職員の負担を軽減するには、もっと地域の方々の協力が必要だと感じた。会議などを設け、よく話し合っていく必要がある。 ・保護者の立場に立って話を聞いてくれていると感じる。応援団、ボランティアの活動は、地域にとっても交流の場になっている。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	学校便りやホームページは定期的に更新し、校長トピックスでは日々の子どものほほえましい様子や成長している様子を毎週更新し、情報提供に努めている。今年度からは外掲示板を充実させ、来校者及び地域の方に情報を積極的に発信している。	A	・校内外ともに、昨年より、掲示が充実していると感じている。 ・ホームページや学校便りの内容が読みやすく、地域の方々にも学校が身近に感じられると思う。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	学校応援団コーディネーターの方々が、学校の要望していることに対し細かく熱心に、調整・対応してくださっている。学校応援団の方々の尽力に感謝している。今後も、連携を深め、よりよい学校経営を目指していく。	A	・学校応援団コーディネーターの方々の尽力は素晴らしいと感じる。こちらも、もっと人を集めていきたい。 ・応援団の活動に対する理解が深く、大変感謝している。協働し楽しく活動ができることにやりがいを感じている。 ・学校が必要としていることを明確にし、そのニーズに学校応援団が応えられるよう、連携を深めるとともに体制も整えていく必要がある。